

第2回 新潟市海辺の森指定管理者申請者評価会議議事録

日 時：令和3年10月15日 午前9時30分～12時00分

場 所：葛塚コミュニティセンター 研修室

申請団体：海辺の森共同事業体

特定非営利活動法人森の会

評価委員：高橋 隆 税理士法人嘉山会計 会長

二宮 裕之 新潟県森林組合連合会 系統事業部長

藤田 裕紀 株式会社フリーウェイツアー 取締役営業部長

傍 聴 者：3名

事 務 局：北区役所産業振興課

発言者	発言内容
<p>(9:30)</p> <p>司会</p>	<p>【開会】</p> <p>定刻となりました。これより第2回新潟市海辺の森指定管理者申請者評価会議を開催します。本日司会進行を務めさせていただき、北区産業振興課課長補佐の吉岡です。前回に引き続き当会議の事務局は、産業振興課が担当いたします。よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、議事録を作成するため会議内容を録音させていただきますのでご了承ください。資料を確認したいと思います。まず本日、お配りしている資料は、次第・座席表・海辺の森採点表の3種類です。お手元にありますでしょうか。これより次第に沿って始めたいと思います。産業振興課課長の山際よりご挨拶申し上げます。</p>
<p>山際産業振興課長</p>	<p>【開会あいさつ】</p> <p>お忙しい中、第2回新潟市海辺の森指定管理者申請者評価会議にお集まりいただき、誠にありがとうございます。8月5日の第1回評価会議でいただいた意見を反映し、8月13日から指定管理者の募集を開始し、8月26日の現地説明会には6団体の参加があり、9月13日の応募の締め切りまでに、2団体から申請がありました。</p> <p>公開プレゼンテーションでは、申請者から直接提案内容について詳細な説明をしていただきます。</p>

	<p>その後、仮採点の際の疑問点等を再度ご確認ください、本採点を行っていただきます。この評価をもとに、市として指定管理者候補者を選定させていただきたいと思います。海辺の森がより良い施設になりますように進めていきたいと思いますので、公正かつ適正な評価となるよう、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
司会	<p>続きまして、2の議事に移りたいと思います。1次審査の書類審査について事務局が説明致します。</p>
事務局	<p>事務局より説明させていただきます。特定非営利活動法人森の会と海辺の森共同事業体から提出いただいた申請書類を確認したところ、書類の不足等不備はありませんでした。募集要項に規定された申請資格について2団体とも要件を満たしていることをここにご報告致します。</p>
司会	<p>【公開プレゼンテーション・質疑応答】</p> <p>続きまして、公開プレゼンテーション及び質疑応答に移ります。まず、くじ引きによりプレゼンテーションの順番を決めたいと思いますので、特定非営利活動法人森の会と海辺の森共同事業体の代表者は中央にお集まりください。</p> <p>くじ引きの結果1番目が海辺の森共同事業体、2番目が特定非営利活動法人森の会に決まりました。2番目の森の会の皆さんは控室でお待ちください。</p> <p>それでは説明される方は15分程度でお願いします。そのあとの質疑応答は20分程度とします。</p>
申請者	<p>海辺の森共同事業体説明（省略）</p>
司会	<p>ありがとうございました。それでは質疑応答に移ります。委員の皆さまから質問・意見等があれば挙手お願いします。いかがでしょうか。</p>
二宮委員	<p>海辺の森の施設維持管理について、海辺の森の仕様書には保安林の樹林環境とありますが、この樹林環境に対してどのような活動や維持管理を期間中に計画していますか。収支計画の該当項目と事業</p>

申請者	<p>計画書の(2)をもって説明してください。</p> <p>樹林環境の保護に関しては、一年間を通じて特に海浜環境を意識した地元の保護団体などと連携して、整備と一体化しながら運営を行いたいと考えています。伐採などの除草に関しては、野鳥の会などと連携を密にしながら年間の計画を改めて立てて実施したいと思います。</p>
司会	<p>他に質問のある方はいますか。</p>
高橋委員	<p>収支関係について何点か質問します。経営方針の中でキャンプのスペシャリストを招いて技術を学べる事業を行うとしていますが、その事業では講師料は発生しますか。また、講師料に見合うだけの参加者の負担金については、どのように考えていますか。</p>
申請者	<p>講師料の発生はケースバイケースだと考えています。公共性の高い自主事業に関して我々は利益を求めるのではなく、損をしない程度で参加者の費用を決めます。それ以外の収益性を持って行う場合は、それなりの費用をお客様から徴収する形で検討しています。</p>
高橋委員	<p>冬季に行うイベント企画の内容をわかる範囲で教えてください。</p>
申請者	<p>キャンプ場の閉鎖期間中は、毎日開けることを考えておりませんが、月に1回程度イベント開催を行っていきたいと思います。その際の開催規模の人数に関しては、30～40人の少ない人数で考えています。キャンプは夏のイメージがありますが、冬のキャンプの面白さを参加者の方に伝えたいと考えています。また、雪が積もればそれに伴ったイベントを推奨します。</p>
高橋委員	<p>収支の計画の中で、利用者の増加を図る自主事業となると表の3年間の3%とは、経験に基づくものですか。目安を教えてください。</p>
申請者	<p>利用者の増加に関しては経験則に基づくものもあります。我々は80施設を運営管理しています。海辺の森は積極的に広報PRを行ってこなかった施設でもありますので、今後はそちらを重視していきます。初年度から少しずつやっていくつもりですが、まずは土台</p>

	<p>作りを行っていきます。初年度の3%は、ある程度の目標値でもあります。それを基準に収入の目的として計画を立てて運営をしたいと考えています。</p>
高橋委員	<p>設備投資の内訳が分かれば、教えてください。</p>
申請者	<p>設備投資に関しましては、キャンプ用品のレンタル備品の購入が主で、その他は海辺の森コテージの整備や畑の整備を考えています。</p>
高橋委員	<p>令和4年度の収支の中の事務費について、一般管理費の金額が事務費の全体の額に対して58%弱ですが、一番占める割合は何ですか。</p>
申請者	<p>事務費に関しては、全体の管理料の8%前後を基本として考えています。内訳としては、指定管理者だけでは運営をできるものではないと考えています。日比谷花壇は全国で指定管理施設運営をしていますので、本部の様々な支援とか、本部の活動費も含めての費用の設定となっております。</p>
藤田委員	<p>3点質問させていただきます。1点目は、BSN ウェーブが新潟市に本社がありますが、地元業者＝新潟市全域だと私は判断しています。海辺の森が新潟市北区にあります。北区の地元業者の活用についてはどのように考えていますか。</p>
申請者	<p>自主事業の委託管理に関しては、BSN ウェーブが請け負いますが、管理に関しては北区の造園業やシルバー人材センターの活用を考えています。それ以外の海辺の森マルシェは、北区の農家の方を呼び込んで、地域の活性化に貢献する予定で考えています。さらに食材の購入などは、北区の業者を活用したいと思います。</p>
藤田委員	<p>2点目は、自主事業の豊富さはとても魅力的に感じました。海辺の森マルシェ定員500名、キャンドルフェスタ定員500名の見込み数の根拠を教えてください。</p>

申請者 A	ある程度経験則的なことも含めてですが、マルシェ開催は本来、1,000人～2,000人規模のイベントにしたいと考えています。コロナ禍の中で500名という数字を最初の目標値に掲げた中で、お客様から参加料と物資のことも考えて感染を抑えられるイベントの開催人数を設定させていただきました。
藤田委員	3点目人材育成に関して、実務経験年数3・5・10年等のスタッフの採用はありますか。
申請者	運営に関して、我々はプロなのですぐに即戦力を入れることが可能だと思います。経験値となりますと管理とかキャンプ場の専門知識に関しては、専門者を含め知識に特化した者を採用し、教育制度でしっかり成長させていくことを考えています。
司会	以上で公開プレゼンテーションを終了します。続きまして特定非営利活動法人森の会の方お願い致します。
申請者	特定非営利活動法人森の会説明（省略）
司会	ありがとうございました。それでは質疑応答に移ります。委員の皆さまから質問・意見等があれば挙手お願いします。いかがでしょうか。
高橋委員	1点目は、令和4年度収支計画書積算内訳の支出項目、管理費内訳の中で、植樹・育樹業務の予算提示はどのような形で周知されるかと、令和2年度の決算書で植樹・育樹業務費の額と予算額の差が倍以上ある理由を教えてください。
申請者	我々は5年前に指定管理を請け負いました。今年度が最終の年で自主事業としてのオートキャンプ場の構想があり、そちらのサイトに思い切った植樹を行った結果が、数字に表れました。簡単に言えばそういうこととなります。最終年なので頑張ろうとした結果、当初予算と決算額で倍以上差がでました。
高橋委員	令和2年度は、かなりの事業を実現していたようですが、令和4

申請者	<p>年度は半額以下になったので、だいぶ違ったなと思い質問しました。</p> <p>2点目は令和4年度の収支計画の管理費の中で、事業計画作成業務の予算計上がされていますので、予算の内訳が分かれば教えてください。</p> <p>我々のシンクタンクが総力をあげてやっているところですけど、メンバーの円環境計画さんが自分の仕事を投げ打って、全体のなかでより良い保全活動につながる細かな活動を行っています。</p> <p>我々は行政の所管でやっているの、しっかりした提出物や行政が管理しやすい書類作りですとか、木を一本一本調査していますので年間これだけ費用が掛かります。不十分な金額かもしれませんが、話し合った結果の金額になっています。</p>
高橋委員	<p>それと収支計画書をみると、令和2年度より4年度の方が2割程度予算ダウンしていることについての意味合いは何ですか。</p>
申請者	<p>最終年の予算の割り振り上ということでお考えください。</p> <p>NPOということでは利益を度外視した活動の中で、先生方からみるとミスマッチのところが出てきているのかもしれませんが。</p>
二宮委員	<p>樹林環境の整備について計画書で120haの刈払などを計画されていましたが、具体的に区域全域とか歩道沿いなどは、全面的に行う予定はありますか。樹林環境の除草区域については、計画書に示しているほぼ全域が対象ですか。</p>
申請者	<p>毎年違うのは現実としてあります。それは自然が相手なのでできるだけ努力しています。</p> <p>現実の話は保全活動よりも植樹の方に力を入れたいとか、環境整備・草刈りを含めて、手ぶらBBQなどの集客面に力を入れていきたい所が出てくると、少し差が出てきます。</p> <p>分かりづらい収支計画で申し訳ないです。</p>
二宮委員	<p>林床整備が450万円計上されていますが、それは作業代と考えて良いですか。</p>

申請者	<p>我々が一番やりたい項目で、白砂青松といういい方をしていますが、あくまでも保安林の松を大事にしていることであります。これは、林床整備にお金を回していきたいという考え方の位置付けです。</p>
藤田委員	<p>1点目は、CB連携ということでコミュニティビジネスとは具体的に何か教えてください。</p>
申請者	<p>コミュニティビジネスは南浜地域の課題解決を図るために私たちが立ち上げました。</p> <p>森の会が指定管理になる前に市の支援事業として、南浜地域に様々な課題があり、それを解決するためにCB南浜カンパニーというコミュニティビジネスを立ち上げました。</p> <p>立ち上げるために非常な苦労がありましたが、立ち上げ当初は7名からスタートし、当時は高齢化が進んでいたが、現在は30代40代のバリバリの若手が参入しました。</p> <p>今現在、提案事業の中にありますけど、森カフェを作っていこうと考えています。</p> <p>コミュニティビジネスに若手が参入したことにより様々な新たなイベントが企画されました。その企画もコロナで中止になりましたが、ネタ作りの中でデータ取りを行いました。</p> <p>そういった形で新たなコミュニティビジネスをこの指定管理者と一緒に5年間続けてまいりました。</p> <p>コミュニティビジネス自体も地域と連携して行うことの理念は変わりありません。</p> <p>さらに若い人が入ったという事は大きなマンパワーであり、さらに保全活動自体にもコミュニティビジネスが参入しています。</p> <p>コミュニティビジネス自体が、森林に松を植える作業も可能になったことも新しい取り組みでございます。そんな形で大きな力となっています。CB自体は以上です。</p>
藤田委員	<p>自主事業の利用者見込み数の根拠を教えてください。また、カブトムシハウスは実績が明記されていたが、他にもあれば、教えてください。</p>

<p>申請者</p>	<p>キャンプ場を閉鎖していても1,000人を超える利用者がございました。ネイチャーガイドも非常に人気を博して、カブトムシハウスに来られた方が、海辺の森のネイチャーガイドも楽しんでおられました。</p> <p>クラフト体験はコロナ禍でできなかったが、無人のクラフト体験教室の利用率も高まりました。だいたい一昨年は、60人くらいだったが、今年は150人前後利用がありました。スタンプラリーも団体利用が中々出来なかったが、個人利用が50人前後ありました。</p> <p>ドラム缶風呂は非常に人気が高いです。保健所の方から我々管理者がドラム缶風呂の湯沸かしを行うと公衆浴場法に抵触するので、利用者が自分たちで火を起して清掃するという事であれば、公衆浴場法に抵触しませんと指導を受けました。また、利用したくて3連泊したかたもいます。</p> <p>ドラム缶風呂もこの辺りでは、なかなか体験できないので非常に人気がありました。ただコロナで閉鎖期間があったので、なかなかデータ取りができませんでしたけど、海辺の森のメインの施設なので今後は増設の予定で考えています。</p> <p>あと火おこし、塩づくり、しゃぼん玉などの体験ですけども、火おこしの体験の中で弓入り式も実際にやっています。</p> <p>この土曜日にも行うしゃぼん玉体験ですが、なかなか情報発信する場がなかったのですが、コミュニティビジネスと連携して若い人たちのSNS発信によりフォロワーが増えました。今後も3セット（火おこし、塩づくり、しゃぼん玉）で行っていきたいと思っています。</p> <p>火おこし、塩づくり、しゃぼん玉については、夏場に関しては火おこしの作業は大変ですから春と秋にやっつけようと考えています。</p> <p>今年初めて行った企画ですからまだ発信が難しかったですが、指定管理者の候補に選定されれば、今後これらをもっともっとPRしていきたいなと思っています。以上です。</p>
<p>司会</p>	<p>以上で公開プレゼンテーションは終了となります。ありがとうございました。傍聴者の方はここでご退席願います。</p> <p>北区のホームページで選定理由も含めて公表しますので、ご覧ください。本日はありがとうございました。(傍聴者 退席)</p>

	<p>委員採点・意見交換【非公開】</p> <p>審査の結果報告【非公開】</p> <p>【閉会】</p>
--	---